

## 生活保護システム構築業務委託事業候補者選考 一次審査選考基準

項番・項目		評価の視点
要件 審査	1 導入実績	・類似案件、同等規模団体での導入実績があるか。 ・提案があったパッケージの他自治体での導入実績件数を基準とし、客観的基準により評価。
	2 データ移行実績	・類似案件、同等規模団体でのデータ移行を伴う導入実績があるか。 ・提案があったパッケージの他自治体でのデータ移行を伴う導入実績件数を基準とし、客観的基準により評価。
	3 業務機能要件	・必要な機能を満たしているか。 ・「機能要件一覧」の300項目について、対応の可否を採点し、客観的基準により評価。
	4 本件提案価格	・本件の導入見積額を基準とし、客観的基準により評価。
	5 ランニングコスト	・運用保守に掛かる費用として、令和3年4月から令和8年3月の合計額を基準とし、客観的基準により評価。
提案 審査	1 生活保護システム構築に対する基本的な考え方	生活保護制度及び業務内容を理解しており、適正な保護の実施を重視した考え方が示されているか。
	2 業務実施体制及び業務遂行能力	本業務が履行可能な業務実施体制及び業務遂行能力が示されているか。
	3 業務実施スケジュール	新システムの構築及び現行システムからの移行が確実かつ円滑に行えるスケジュールが提案されているか。
	4 生活保護システムの特徴及びシステム構成	生活保護システムのコンセプトが示されているか。システム構成はパフォーマンスや保守等の機能面を高める内容となっているか。
	5 データ移行の手法及び確実性	現行システムからのデータ移行について、実現性及び確実性の高い提案がされているか。
	6 システム操作性	利用者にとって使いやすい操作性、わかりやすい画面レイアウト等を備えているか。
	7 システム拡張性	法制度改正への対応など、将来の拡張性があるか。その際、カスタマイズは最低限におさえ、簡便かつ安価に行うことができるか。
	8 業務効率化及び経費削減	業務効率化や利用者の負担軽減につながる具体的な提案があるか。経費削減に関する具体的な提案があるか。提案は実現性と有効性があるものか。
	9 利用開始支援・運用保守体制	新システムの利用開始にあたっての支援内容は適切か。また、新システム稼働後の運用保守体制は適切か。トラブルや問い合わせ等に迅速かつ柔軟に対応可能なものか。
	10 セキュリティ対策・信頼性	システムの・人的・組織的なセキュリティ対策、システムの信頼性は十分確保されているか。
加点 項目	1 ワーク・ライフ・バランス推進企業の評価	・以下いずれかの認定書の有無により評価。 区が認定する「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業」 東京都が認定する「東京都ワークライフバランス認定企業」 国が認定する「くるみん認定」、「プラチナくるみん認定企業」
	2 区内事業者優遇	・区内事業者又は区外事業者が区内事業者と共同してプロポーザル選考に参加しているか。 ・区外事業者のみで参加する場合は対象外。

## 生活保護システム構築業務委託事業候補者選考 二次審査選考基準

項番・項目		評価の視点
プレゼン テーシ ョン・ ヒア リング	1 業務趣旨の理解	・区が本業務を実施する目的を理解できているか。
	2 提案の実現性	【専門技術力の確認、見積額と作業量の整合性】 ・提案内容は本業務の目的を達成することができる実現性が高いものとなっているか ・業務責任者等が本業務に必要な経験を十分に持ち、また経験を生かした業務の遂行が期待できるか
	3 提案の発展性	本業務の将来性、創造性、発展性がうかがえる提案がされているか
	4 理解・回答力	【協調性・理解力】 委員からの質問の意図・目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で、評価できる回答がなされたか
	5 取組意欲	【予定担当者又は技術者の取組姿勢、取組意欲】 業務実施への積極的な意欲がみられ、柔軟性に富んだ誠実な遂行が期待できるか